

「2023 年猫年の明るい兆し」

中川 良一

＜2023 年ベトナムの干支は、猫＞

2023 年の干支は兎ですが、ベトナムでは「猫」になります。どうして干支に違いがあるのでしょうか。中国語での干支の「卯」は（mao）と発音され、ベトナム語での「猫」の発音（meo）と似ているので猫だという説。また、猫は農家にとって害獣とみなされるネズミの天敵なので、ベトナム人は兎より、役に立つ猫を選択したという説もあります。ほかにもベトナムの干支は日本と少々異なり、羊は山羊、丑は水牛、猪は豚で、より生活に密着した親しみのある動物に置き換わっています。

近年の若者は、年末（旧暦）に全国の大都市に建てられるその年の干支のオブジェを楽しみにしています。2～5mもある大きなものや、色々な材料からできたオブジェが飾られています。見た目の可愛さは関係なく、どれほど印象的なものを作ることができるかが重要です。低コストでかつユニークなものを作ることで、その都市のイメージアップにつながるチャンスとなっています。

＜海外直接投資＞

新型コロナウイルスが流行して 2 年が経った昨年 2022 年、ベトナムの経済は徐々に回復、各業界も復興し、成長率が増加してきました。総合統計局による 2022 年末の報告によると、ベトナムの 2022 年 GDP の前年比増加率は 8.02%で、2011 年以降で最大の前年比増加率となりました。そのうち、サービス業の増加率が約 10%と最も高く、2022 年増加率の 56.65%を占めました。更に、従来の記録を更新した 2022 年総輸出入額は 2021 年比 9.5%増 7,325 億ドルで、貿易黒字は 112 億ドルに達しました。

ベトナムへの海外直接投資も少しずつ回復しており、コロナ前の 2019 年の状況に近づいています。新規登録投資プロジェクトは 2,036 件、新規登録投資額は 125 億米ドルとなりました。投資件数ベースでは、2021 年の 1,738 件を上回り、韓国が第 1 位（416 件）、中国 2 位（283 件）、シンガポール 3 位（280 件）、次いで日本 4 位（203 件）でした。新規登録投資額は日本が 33.9 億米ドルで第 1 位となりました。投資分野別では、加工・製造業での新規登録投資額が 72 億米ドルを超えてトップで、全体の 58%を占めました。

＜回復が顕著な観光産業＞

観光分野においても回復が顕著です。2022 年前半に海外旅行は政府により許可されましたが、各国の出入国手続の複雑さや安全状況などを鑑みて、国内旅行が人気でした。2022 年の国内旅行者数は予想より 168.3%多く、過去最大 1 億 130 万人に達しました。旅行業界の売上は 495 兆ドン（約 2.69 兆円）で、予想を 23%超える状況です。

ベトナム観光局によると、コロナ前の 2019 年の海外からの観光客数は、全体の 3 分の 1 を占める中国人が第 1 位（580 万人）、次いで韓国人 2 位（429 万人）、日本人 3 位（95 万）という状況でしたが、本年は、コロナ前よりも多くの観光客がベトナムを訪れるだろうと予測されています。2023 年猫年は、猫の俊敏な動きのように、観光・投資が急回復し、経済に明るい兆しが見えることが期待されています。



【様々な猫のオブジェ】